

中京区の家



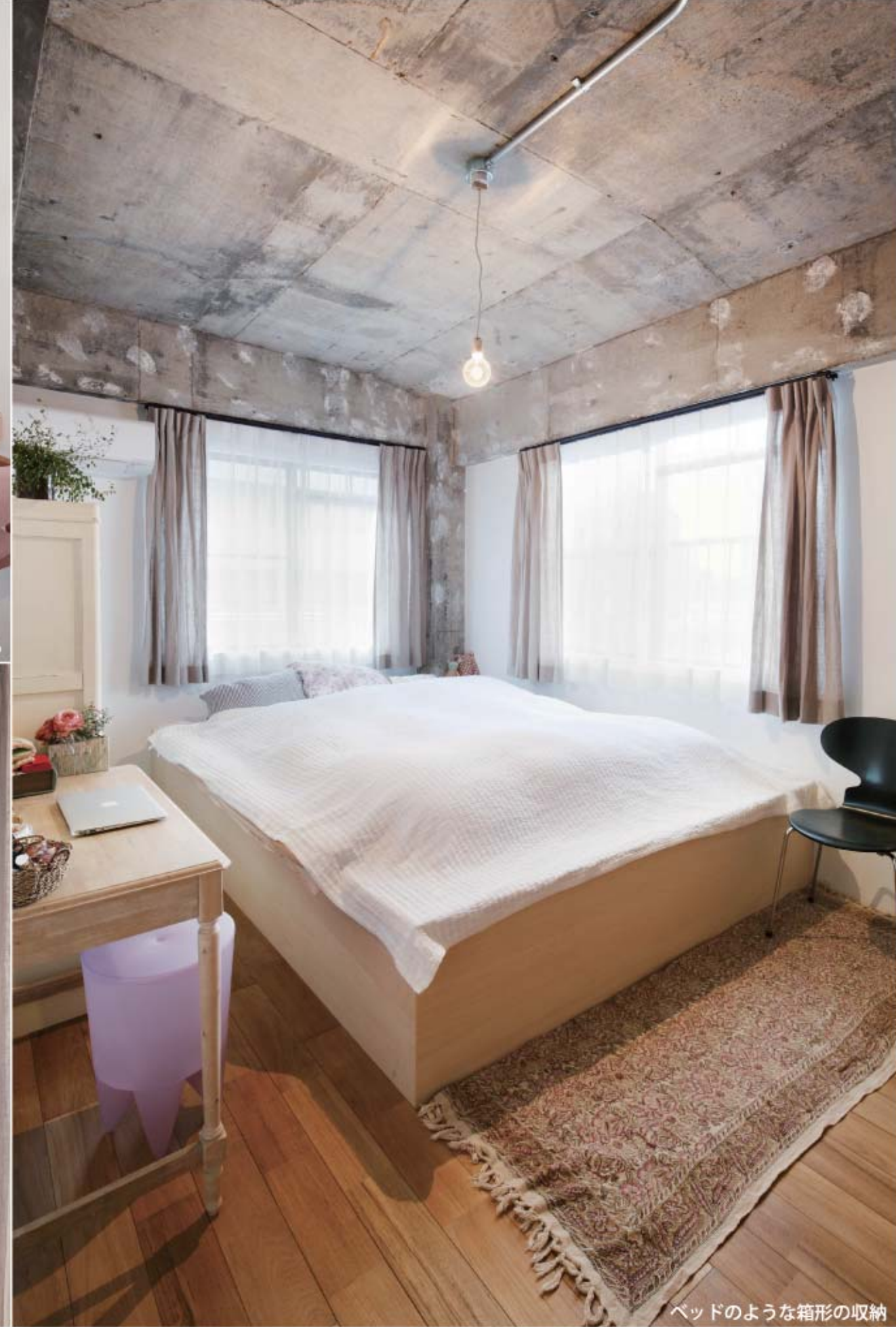
リビング、ダイニングを南北に繋げ一部屋にすることで日当たりと風通しの良い空間にした



無垢の床や塗装の壁、カーテンは光の入り具合を確認しながら選んだりリネン生地の布である



造作で設えた壁側の棚は気に入った道具を眺めながら家事を楽しむための工夫である



ベッドのような箱形の収納

敷地条件と要望

敷地は京都市中京区。繁華街を外れた鴨川沿いにマンションが建ち並ぶ静かな場所で5階建RC造のマンションの一室の改修である。

収納は少なく、小分けされた部屋の使い勝手も良くない。また南北にはそれぞれ大きなベランダがあるにもかかわらず光を感じにくい薄暗い空間であった。

その改善をすると共に終の住処ではなく次のライフステージには住み替える事を前提としたリノベーション計画である。



コンセプト

数年で住み替える事が前提である為、一生分の想定を盛り込んだ家へと作り込まないようにした。自身の固有性を探求しながらも日当たりや風通し、間取りや収納量等の一般性のある魅力を持たせ、手を加える余地を残す事で住まい手が変わった後の新たな住人の事も意識しながらのプランニングとなった。

計画のポイント

- ・床材を先行して全体に貼ってから間仕切り壁を建て、将来的な間取りの変更に対応出来るようにした。
- ・予算を抑える為に最上階だが外断熱が施されている為、天井は現し、梁や柱も同じとする。補修はせずシンプルに新旧のマテリアルを対比・共存させるこの空間ならではの固有性とした。
- ・各所、時間の経過が味わいとして出る素材を使用し、無機質なコンクリートの空間ではない住み手にとって暖かみのある有機的な空間になるよう計画した。
- ・壁面での収納量を増やしすぎてしまうと間取りの変更や部屋のスペースが減少してしまう為、大容量の収納箱をベッド部分に使用する事で解決した。



改装前平面図 1:200

改装後平面図 1:100

内部仕様

リビング・ダイニング・寝室・玄関
 床 : チークフローリング t-15 張 (ニッシンイクス) + 蜜蝋塗り
 壁 : PB t-12.5 + EP 塗
 天井 : 躯体現シ (玄関ノミ PB t-12.5 + EP 塗)

建具・棚
 面材 : パイン集成材 + 榆 突キ板貼 (安多化粧合板) + 蜜蝋塗り

設備
 システムキッチン : サンワカンパニー / W2700

所在地 : 京都府京都市中京区
 家族構成 : 夫婦 (20-30代) 幼児 1人
 改装面積 : 67.4㎡
 概算予算 : 440万 (税込 / 家財道具抜)



既存天井を取払い高さを確保し、カーテンで内と外を緩やかに繋げつつプライバシーを守る



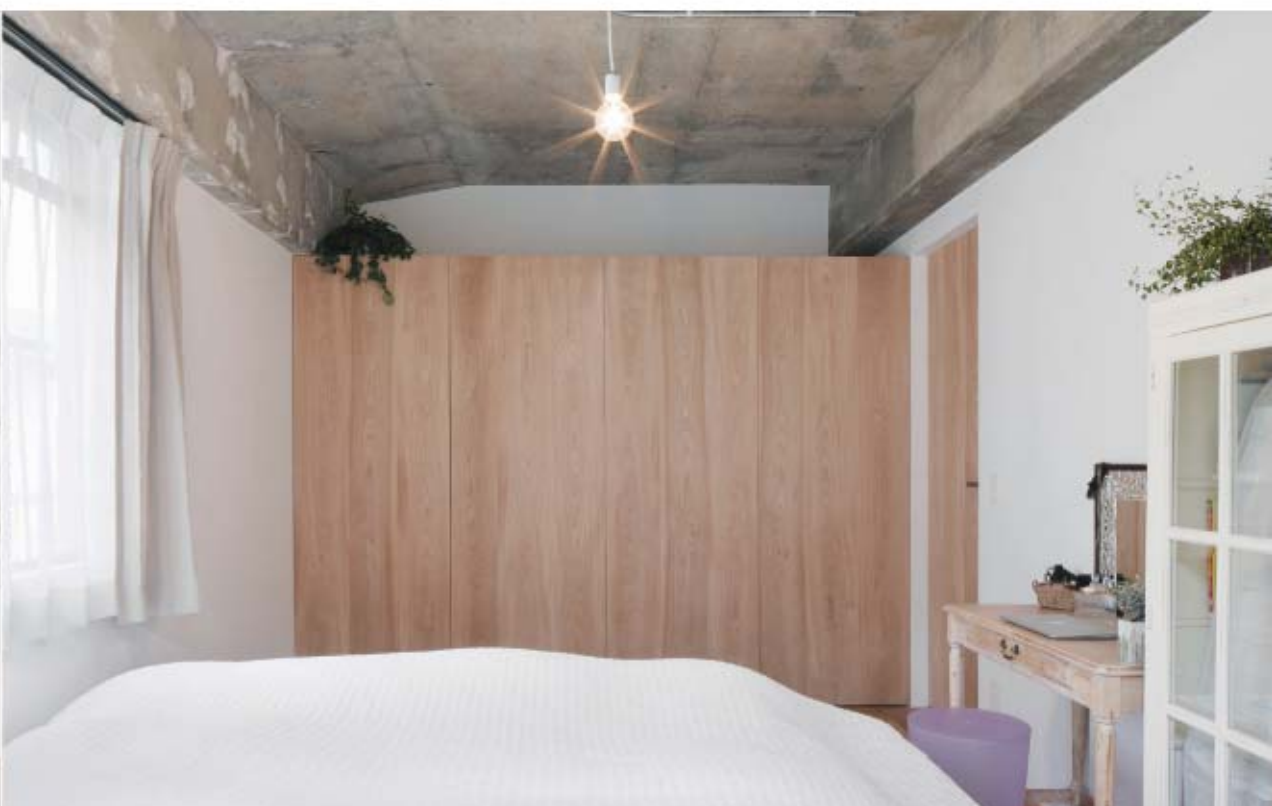
キッチン側に造作で設えたカウンターには毎日使う道具達が並べられる



作業台を兼ねたバックカウンターはW3600



ダイニングに飾る草木が映える



北側全面に収納。梁下で揃える事でできる上部に抜けを作りは迫感を感じさせない